



特定非営利活動法人

市民社会創造ファンド

年次報告書

はじめに 理事長あいさつ

2023 年度（2023 年 10 月～2024 年 9 月） 事業報告・決算

2024 年度（2024 年 10 月～2025 年 9 月） 事業計画・予算

役員名簿

参考資料（助成対象プロジェクト一覧等）

発行：2025 年 2 月

はじめに

－遺贈寄付による「ハマダ基金プログラム」の終了に思う－

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

理事長 山岡 義典

今回の事業報告では数行の簡単な完了報告（P.11）に終わっているが、遺贈寄付による「ハマダ基金プログラム」は参考事例として意味深い。少し詳しく経緯を説明しておきたい。

証券会社ⁱを通じてハワイ在住のハマダ氏からお話しがあったのは2008年の初夏であった。日系1世の父が困窮している日本人のためにと言い残して証券会社に預けている株が、長年そのままになっている。自分も高齢になったので何とか有効に活用したいとのことであった。それなら市民社会創造ファンドで使わせていただきたいと伝えたところ、スムーズに話が進み、日米の税のことなども問題ないことを確認した上で、「生活上の困難をもつ人々の救援」をテーマに寄付していただくことを決定、9月25日にはその株と配当金を合わせて6400万円余りを受け取った。

早速内部で検討し、まずは「ハマダ基金プログラム」としてホームレスの自立支援で先駆的な活動を行っている団体に計画型の助成を行うこととした。同時に事務局長の提案を受け、株式は全て現金化することにし、4か月後の09年1月25日に全株を売却した。その時点では株価も上昇し配当金も積上がって寄付額は220万近く増え、使える資金は6630万円近くになっていた。2年後の11年3月には大震災の原発事故で株価は暴落する。実に勇気ある時機を得た決断であった。

その後の助成事業は下記の通りである。

- ・2009-12年度助成先：NPO法人ホームレス支援全国ネットワークによる「地域生活安定化支援事業パイロット事業1～4」（計49,600,000円）実施団体は全国ネットワークの公募により、NPO法人ホームレス自立支援市川ガンバの会（千葉県）、NPO法人ワンファミリー仙台（宮城県）、NPO法人プロミスキーパーズ（沖縄県）の3団体に決定
- ・2011年度寄付先：NPO法人日本NPOセンターに設置した東日本大震災「現地NPO応援基金」への寄付（5,000,000円）
- ・2015-16、19年度助成先：NPO法人東京シュレーによる「フリースクール貧困対策・奨学プロジェクト1～2」（2,700,000円）
- ・2022-23年度助成先：認定NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべによる「困難を抱える女性のための居住支援プロジェクト」（3,000,000円）

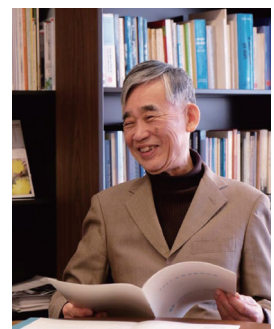
助成総額は約6000万円、別に約1割の運営経費約600万円で、寄贈いただいた資金は24年4月をもって全額を使い切ったⁱⁱ。

私は毎年、年始めに年賀を兼ねて1年間の事業報告をお送りしてきたが、この1月が最後になった。約束を果たし得たことに感慨深い思いである。これだけ自由に使わせていただいた資金源はめったにないのではないかと深く感謝している。

思いがけない遺贈による助成事例として、多くのヒントを読み解いていただくと有難い。

i 当時ファンドが「ダイワSRIファンド」の助成事業で協力していた大和証券㈱。

ii 当初の思いとしては5-6年程度で使い切る積りであったが特に決めてはいなかった。



2023 年度 事業報告・決算

2023 年 10 月～ 2024 年 9 月

新たな取り組み

基盤強化プログラム

助成プログラム（自主）

助成プログラム（特定）

協力プログラム

助成関連協力事業

◆総会および理事会の開催



総会および理事会

内容	開催日	議題
○2023年度 通常総会	2023年12月21日	①2022年度事業報告および決算の報告 ②2022年度事業計画および予算の承認 ③次期役員の選出
○第79回理事会	2023年11月	①2022年度事業報告案および決算案の承認 ②2023年度事業計画案および予算案の承認 ③次期役員の推薦
○第80回理事会	2023年12月21日 (通常総会後)	①理事長、副理事長および専務理事の選任
○第81回理事会	2024年4月19日	①各助成プログラム等の報告 ②上期決算および今後の資金繰りについて
○第82回理事会	2024年7月4日	①2023年度の事業経過報告および下期の事業予定 ②今後の資金繰りについて ③事務局体制について ④2024年度事業計画について ⑤理事の費用弁償について
○第83回理事会	2024年9月27日	①2023年度事業報告（案）および決算見込の報告 ②2023年度事業計画（案）および暫定予算（案）の検討

2023 年度の新たな取り組み

< 基盤強化プログラム >

◆助成担当者のための研修交流事業

研修交流事業の定期開催と合わせ、外部の参加者を含む企画運営委員会を組成した。

◆広報活動の充実

①広報委員会の運営

当ファンドの広報に関する戦略を立てるために役員を中心に広報委員会を設置した。第 1 回：2024 年 3 月 29 日、第 2 回：5 月 20 日に実施。広報力を高め、団体としての信頼性の向上をはかるとともに、新規事業の開発や会費・寄付の増加に努めている。

②ホームページでの情報発信

リニューアルした HP について、コンテンツを充実させるとともに、更新頻度をあげている。

③一理事一企画

会員のみならず、広く一般にファンドについて知る機会とするために、ファンドの各理事発案による企画を実施する予定であったが、今期は未実施となった。

< 協力プログラム >

◆「ジョンソン・エンド・ジョンソン」2024 年度 モデル助成の実施

2023 年に実施した企画開発調査結果をもとにプログラムの骨子を作成し、2024 年からモデルプログラム「コミュニティ・ヘルスケア・プログラム」として運用を開始し、現在 6 団体に対して助成を行っている。（ジョンソン・エンド・ジョンソンからの委託事業）

基盤強化プログラム

◆基盤強化プログラム

(1) NPO支援組織スタッフ強化助成

この助成は、民間のNPO支援組織による、全国または地域ブロック単位で実施する研修プログラムを対象とし、主催者には外部講師の謝金・交通費を、参加者（民間のNPO支援組織のスタッフに限定）には交通費の一部に助成するもの。なお、当ファンドの関係者が所属する組織の研修の場合は、ファンドが共催することにより分担金として支払う。

*** 23年度は実施せず。**

(2) 助成担当者のための研修交流事業

市民ファンド／コミュニティ財団、助成財団や助成を行う企業等の関係強化を目的とした、「助成担当者のための研修交流会」の第2回目を24年2月15日に行った。第3回は24年9月10日に開催した。研修交流事業の定期開催と合わせ、外部の参加者6名を含む企画運営委員会を組成した。

*** 実施済**

【解説】

- ・ 助成担当者のための研修交流事業：第2回の研修交流会は、ファンド理事とスタッフによる準備会を経て、企画化し、「助成原資を「集める」編」として実施した。多様な資金調達の実践事例だけでなく、「現場からの声」として助成金を受けるNPO側のコメントを頂く機会を設け、「生の意見交換」を行うことができた。
- ・ 第2回の参加者から、企画運営委員を募り、第3回の企画化を行った。有志の皆様とファンド理事およびスタッフにて検討会（全3回）を行い、「助成プログラムを「つくる」編」として実施した。各回の詳細については、ファンドHPにて報告書を掲載した。
- ・ 市民活動助成は、助成に関わる人も学び成長しながら、市民活動団体との関係性を育むものと捉え、そのための「工夫」や「思い」をあらためて言語化していく。



◆基盤強化プログラム



(3) 新規の助成プログラムの企画開発および助成関連事業等の相談対応

企業や財団等に向けたセミナーやシンポジウムを企画・実施し、新たな助成プログラムの企画開発やその運営協力、その他の評価事業等の関連事業への協力につなげる。

* セミナー・シンポジウムは未実施。

* 相談対応には適宜応じている。

(4) 広報ツールの強化

ファンドの価値や理念の理解を促進するため、Webサイト (<http://www.civilfund.org>) を改訂し、2023年12月に公開した。改訂したWebサイトでは、個人情報の保護に留意しつつ、積極的に市民社会創造ファンドの実績や諸活動を伝え、公開していく。また、毎月1回、会員向けのメールマガジンを発信するなど会員向けの情報発信や、会員や寄付獲得につなげる情報発信も積極的に行った。

* 実施中

◆助成プログラム（自主）



(1) 自主プログラムの検討と実施

当ファンド独自で立ち上げる助成プログラムについて検討を始める。そのための寄付を募集するとともに、会員の拡充につとめる。プログラムの立ち上げについては運営委員会を組成する。NPO支援組織スタッフ強化助成との関連性については引き続き検討する。

* 未実施

助成プログラム（特定）

◆助成プログラム（特定）

（１）タケダ・ウェルビーイング・プログラム（計画型助成）



長期療養の子どもたちに“生きる力”を

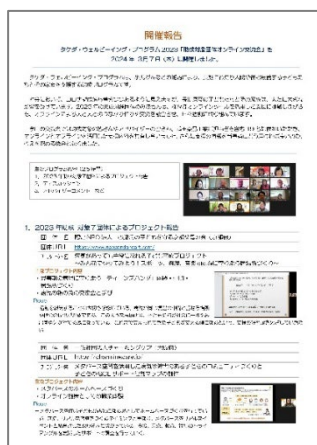
寄 付：武田薬品工業株式会社
 助成期間：プロジェクトごとに設定
 助成金額：50万円～200万円
 助成総額：800万円
 継続助成：最大3年まで

【解説】

- ・計画型の助成（非公募）として、ファンドより対象となる NPO に声をかけ、団体と対話しながらプロジェクトを作り上げて助成するもの。

●1 年の流れ

- ・2023 年度助成のフォロー（助成対象：新規 4 件、継続 3 件）
 – 各種報告書の受領と確認、中間インタビューの実施等
- ・2023 年度助成対象団体オンライン交流会の開催（2024 年 3 月 7 日）
- ・2024 年度助成の検討・候補団体調査
- ・2024 年度助成第 1 回審査会の実施（3/21）（助成対象：継続 2 年目 2 件）
- ・2024 年度助成第 2 回審査会の実施（6/18）（助成対象：継続 2 年目 1 件、3 年目 2 件）
- ・2023 年度 武田薬品工業に対し寄付報告（6/28）



オンライン交流会のレポートは当ファンド HP に掲載

（２）ハマダ基金プログラム（計画型助成）

生活上の困難をもつ人々の救援

寄 付：個人
助成期間および助成金額：プロジェクトごとに設定

【解説】

- ・ 個人の一括した寄付（通称：ハマダ基金）にもとづいて当ファンドが自主的に行うもの（計画型助成）。助成期間・金額はプロジェクトごとに設定する。

●1 年の流れ

- ・ 2021 年助成のフォロー
2022 年 7 月の審査で決定した「認定NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ」が行う「困難を抱える女性のための居住支援プロジェクト」(2022 年 8 月～2024 年 3 月)のフォローを行った。24 年 4 月末までに完了報告書を受領し、プロジェクトの成果と課題を確認した。
なお、ハマダ基金プログラムは、本件の完了報告書の受領確認をもって終了した。（「はじめに」参照）

協力プログラム

◆協力プログラム

(1) ファイザープログラム



心とからだのヘルスケアに関する 市民活動・市民研究支援



主 催：ファイザー株式会社
助成期間：1～12月（1年間）
助成金額：50万円～300万円
助成総額：2,500万円（見込）
継続助成：なし（3回まで助成可）

【解説】

- ・第24回の助成（2024年募集、2025年1月助成）から「継続助成」の選考のしくみが廃止された。助成総額等の規模は変わらないため、前年度からの連続応募も可能である。
- ・また、プログラム初となる、オンラインによる公募説明会を開催し、40名を超える参加者を得た。加えて広報先を追加し、募集要項を印刷・送付するなど工夫を行ったが、昨年よりも応募数が減少した。25年募集にむけて、仕組みの見直しを検討している。

●1年の流れ

- ・2022年募集（2023年1月助成）のフォロー
（助成対象：新規8件、継続8件、助成総額：2,920万円）
 - －24年1月末までに完了報告書を受領し成果を確認した。
- ・2023年募集（2024年1月助成）の実施とフォロー
 - －23年12月に結果を公表（助成対象：新規8件、継続6件、助成総額：2,463万円）
 - －24年6月から7月にかけて中間インタビューを実施、7月末までに中間報告書を受領してプロジェクトの進捗を確認した。
- ・2024年募集（2025年1月助成）の実施
 - －24年7月～10月に選考を行った。（予備選考、本選考、選考ヒアリング、選考委員長決裁会合）

(2) Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs (国内助成)

「貧困の解消」に向けて取り組むNPOの組織基盤の強化

主 催：パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社

助成期間：1～12月（組織診断）※

1～12月（基盤強化）

助成金額：150万円（組織診断）※

200万円（基盤強化）

助成総額：1500万円（見込み）

継続助成：組織診断からはじめるコース 3年

基盤強化からはじめるコース 2年

※2023年募集より変更

【解説】

- ・2024年募集（2025年1月助成）では、選考委員長を含む選考委員の体制を変更した。企画更新調査をもとに、2023年募集からプログラムの変更*を行ったが、その影響の有無を意識しながら、フォロー業務にあたった。（*「組織診断からはじめるコース」の助成期間を、8カ月から1年間に変更等）
- ・2022年募集（2023年1月助成）の成果報告会は、コロナ禍を経て5年ぶりに対面で開催することができた。
- ・2023年募集（2024年1月助成）が決定したのち、助成対象団体に対してオンラインによるオリエンテーションを行った。これまでは贈呈式内でオリエンテーションを実施していたが、事前に行うことにより贈呈式での交流の時間を増やすことができた。

●1年の流れ

- ・2022年募集（2023年1月助成）のフォロー（成果報告書受領）
（助成対象：9件（新規5件、継続4件）、助成総額：1,421万円）
 - －2022年募集 成果報告会の実施（2024年2月27日開催）
- ・2023年募集（2024年1月助成）の決定
（助成対象：9件（新規5件、継続4件）、助成総額：1,500万円）
- ・2023年募集のフォロー
 - －助成オリエンテーションのオンライン実施（2023年12月19日開催）
 - －贈呈式の実施（2024年1月25日）
 - －中間報告書受領・中間インタビューの実施
- ・2024年募集（2025年1月助成）の実施とフォロー
 - －4月公募開始、新規および継続応募受付
 - －予備審査の実施（8月）

(3) スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム

コミュニティスポーツによる健やかな暮らしと文化の醸成



主 催：住友生命健康財団
助成期間：4～3月（1年間）※アドバンスコースは2年間
助成金額：50万円／300万円
助成総額：2,000万円（見込）
継続助成：なし

【解説】

- ・プログラム内容は、前年度から変更は行っていないが、公募から選考までの時期を1カ月前倒した。
- ・本プログラムでは、プロジェクトの状況に応じて、プロジェクトのスタートアップに相応しい「チャレンジコース」（1年間・50万円以下）とコミュニティスポーツの深化・発展に臨む「アドバンスコース」（2年間・300万円以下）を設けている。近年の傾向としては、「チャレンジコース」で手ごたえを感じた団体が、次なる展開として「アドバンスコース」に応募するという流れがみられる。

●1年の流れ

- ・2022年募集（2023年4月助成）のフォロー
（助成対象30件：チャレンジ：21件、同（連続）：4件、アドバンス1年目：5件、同2年目：4件）
－23年10月末日までに中間報告書を受領し、各プロジェクトの進捗を確認した。アドバンスコースについては、23年10月から11月にかけて中間インタビューを実施、24年末までに完了報告書を受領・確認した。
- ・2023年募集（2024年4月助成）の実施とフォロー
（助成対象31件：チャレンジ：17件、同（連続）：5件、アドバンス1年目：4件、同2年目：5件）
－23年8月に募集を開始。9月～2月に選考、24年2月に助成を決定、4月から助成を開始した。
－助成対象団体を対象に、オンライン交流会を実施（5/14）
- ・2024年募集（2025年4月助成）の募集と選考
－24年7月に募集を開始。8月～翌2月にかけて選考、25年3月に助成を決定する。
- ・コミュニティスポーツに関する情報発信
－2年間の助成を終えた団体に対し現地訪問あるいはオンラインで取材を行い、そのレポートを住友生命健康財団HP掲載した。
- ・フォローアップアンケートの実施
－助成終了後、2年経過した団体に対して、24年6月に自己評価によるアンケート調査を実施し、助成プログラムの成果や課題を把握した。
- ・第4期プログラム企画更新のための調査の実施

(4) 東急子ども応援プログラム

子どもたちの幸せを支える地域の活動の応援



主 催：東急株式会社
助成期間：4～3月（1年間）
助成金額：100万円以内
助成総額：1,500万円（見込）
継続助成：あり（2年まで）

【解説】

- ・ 東急線沿線の17市区内における、子どもたち一人ひとりが望む「幸せ」につながる活動を応援。
- ・ 2020年、コロナ禍の中でプログラムを創設。今回、4回目の助成を決定した。24年7月には、渋谷ヒカリエにおいて、公開型で完了報告会が開催され、それが次なる応募の契機となっている。

●1年の流れ

- ・ 2022年募集（2023年4月助成）のフォロー（助成対象：13件、1,250万円）
 - －2023年助成の完了報告会の実施（7/27）
- ・ 2023年募集（2024年4月助成）の実施（助成対象：16件、1,500万円）
 - －23年7月に募集を開始、9月～12月に選考、24年1月に助成を決定、4月から助成を開始した。
- ・ 2024年募集（2025年4月助成）の募集と選考
 - －24年7月に募集を開始、9月～翌1月に選考・助成を決定、4月から助成を開始する。

助成関連協力事業

◆助成関連協力事業



(1) 「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」実施事業の評価

日本NPOセンターが武田薬品工業株式会社からの10年間寄付により実施された東日本大震災の復興支援事業「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」の「自主・連携事業」および「組織基盤強化事業」に関し、各事業の評価を実施。既に実施済みの「公募助成事業」の調査結果も本評価と合わせて総合的な評価報告書を作成し、2024年6月に提出した。

調査対象：自主・連携事業および組織基盤強化事業の計12事業

調査内容：各事業の事業評価およびアウトカム評価、助成プログラムの総合評価

調査方法：実施団体へのアンケート調査およびヒアリング調査

調査期間：2023年6月～2024年3月

(日本NPOセンターから受託)

*** 実施済**

(2) 「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」事業報告書ダイジェスト版の作成

同「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」について、広くプログラムの成果や効果を発信するためのダイジェスト版の冊子データを作成した。

実施期間：2023年11月～2024年12月 *** 実施済**

(日本NPOセンターから受託)

【解説】

- ・他団体の事業に関する評価の実施は、当ファンドとして初めての経験であった。いわゆる第3者評価にあたるもので、関連団体へのヒアリング調査においては主催者である日本NPOセンターは同席せず、当ファンドの担当者のみで実施した。

◆助成関連協力事業



(3) 「ジョンソン・エンド・ジョンソン」新規助成プログラムの企画開発調査

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社が実施するNPO市民活動向けの助成事業に関し、企画開発調査を行い、調査内容は報告書として2023年12月に提出した。

調査内容：テーマ設定、対象分野の概況調査、モデルプログラムの構築

調査方法：他の製薬会社などにおける市民活動助成のリサーチ、有識者および団体へのインタビュー、など

実施期間：2023年7月～2023年12月 *** 実施済**

(ジョンソン・エンド・ジョンソンから受託)

(4) 「ジョンソン・エンド・ジョンソン コミュニティ・ヘルスケア・プログラム」モデル助成

上記の企画開発調査結果をもとにプログラムの骨子を作成し、モデルプログラムとして運用を開始した。あわせて、本助成に向けた公募や選考方法について検討を開始した。

実施期間：2024年1月～2024年12月

*** 地域社会におけるフロントラインヘルスケアワーカーの取り組み、フロントラインヘルスケアワーカーへのエンパワメントやヘルスケアに繋がる取り組みを応援。**

*** 3月に限定公募、4月1日締切 12団体から応募があり、4月末に6団体・助成総額1,475万円を決定した。**

助成期間：2024年6月～2025年5月（1年間）

*** 2024年5月10日にキックオフイベントを開催した。**

(ジョンソン・エンド・ジョンソンから受託)

【解説】

- ・2023年に実施した企画開発調査をもとに、現在モデル助成を実施している。



(5) 上記以外の助成プログラムに関する評価

ファンド以外で実施した助成プログラムも対象に、助成事業に関する評価調査を受託し実施する計画であったが、行っていない。

(6) その他の関連協力事業

今後も出張研修事業等、様々な形の助成関連協力事業を受託し、実施する計画であり、現在ある企業から相談を受けている。

2023年度のスタッフ体制（2024年9月30日現在）

事務局長／シニア・プログラムオフィサー 山田 絵美

プログラム・オフィサー 駒井 雅子

以上

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

【一般財産】2023年度決算（単位：円）

（2023年10月1日～2024年9月30日）

	2023年度 予算	2023年度 決算	予算比
<収入>			
A 会費収入	1,100,000	575,000	△ 525,000
A-1 個人正会員 受取会費	500,000	310,000	△ 190,000
A-2 NPO／法人正会員 受取会費	500,000	230,000	△ 270,000
A-3 個人賛助会員 受取会費	100,000	30,000	△ 70,000
A-4 NPO／法人賛助会員 受取会費	0	5,000	5,000
B 寄付金等収入	10,000,000	24,193,341	14,193,341
B-1 一般寄付	200,000	459,251	259,251
B-2 指定寄付金	9,800,000	8,984,090	△ 815,910
B-3 指定助成金	0	14,750,000	14,750,000
C 自主事業収入	600,000	217,000	△ 383,000
D 受託事業収入	21,700,000	22,050,403	350,403
D-1 一般助成事業	15,700,000	16,341,100	641,100
D-2 新規・特別事業	6,000,000	5,709,303	290,697
雑収入	0	0	0
当期収入合計	33,400,000	47,035,744	13,635,744
<支出>			
a 助成金支出	8,300,000	21,940,000	13,640,000
a-1 自主プログラム	300,000	0	△ 300,000
a-2 指定寄付による助成金支出	8,000,000	7,190,000	△ 810,000
a-3 指定助成金による助成金支出	0	14,750,000	14,750,000
b 助成等活動費	19,290,000	21,029,044	1,739,044
b-1 人件費	10,700,000	10,465,377	△ 234,623
b-2 活動経費	2,400,000	3,868,806	1,468,806
b-3 謝金等経費	1,100,000	1,544,447	444,447
b-4 事務経費	2,000,000	2,154,014	154,014
b-5 地代家賃	2,290,000	2,270,400	△ 19,600
b-6 指定助成業務費	0	0	0
b-7 20周年事業関連費	800,000	726,000	△ 74,000
c 一般管理費	4,100,000	3,965,053	△ 134,947
c-1 人件費	1,800,000	1,801,850	1,850
c-2 事務経費	500,000	538,503	38,503
c-3 地代家賃	600,000	567,600	△ 32,400
c-4 租税公課	1,000,000	1,057,100	57,100
c-5 予備費	200,000	0	△ 200,000
経常費用計	31,690,000	46,934,097	15,244,097
当期 一般正味財産増減額	1,710,000	101,647	△ 1,608,353
前期 繰越一般正味財産額	1,836,635	1,836,635	0
次期 繰越一般正味財産額	3,546,635	1,938,282	△ 1,608,353

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

【指定財産】2023年度決算（単位：円）

（2023年10月1日～2024年9月30日）

	一般科目	2023年度 予算	2023年度 決算	予算比
指定財産寄付金 ハマダ基金 プログラム	指定寄付・助成収益	0	0	0
	受取寄付金			
	受取助成金			
	その他収益			
	一般正味財産への振替額	0	0	0
	助成金			
	ファンド運営費			
	指定助成業務費			
	その他払出			
	収支差額			
	前期末指定正味財産			
	今期末指定正味財産			
指定財産寄付金 タケダ・ ウェルビーイング ・プログラム	指定寄付・助成収益	10,000,000	10,000,000	0
	受取寄付金	10,000,000	10,000,000	0
	その他収益	0	0	0
	一般正味財産への振替額	9,800,000	8,984,090	815,910
	助成金	8,000,000	7,190,000	△ 810,000
	ファンド運営費	1,800,000	1,794,090	△ 5,910
	指定助成業務費			0
	その他払出			0
	収支差額	200,000	1,015,910	△ 815,910
	前期末指定正味財産	1,641,753	1,641,753	0
	今期末指定正味財産	1,841,753	2,657,663	815,910
合 計	指定寄付・助成収益	0	0	0
	受取寄付金	0	0	0
	受取助成金	0	0	0
	その他収益	0	0	0
	一般正味財産への振替額	9,800,000	8,984,090	8,984,090
	助成金	8,000,000	7,190,000	△ 810,000
	ファンド運営費	1,800,000	1,794,090	△ 5,910
	指定助成業務費	0	0	0
	その他払出	0	0	0
	収支差額	200,000	1,015,910	△ 815,910
	前期末指定正味財産			
	今期末指定正味財産	1,841,753	2,657,663	815,910

一般正味財産への振替額

	指定財産寄付金（B-2）	9,800,000	8,984,090	815,910
	指定財産助成金（B-3）	0	0	0
	計	9,800,000	8,984,090	815,910
	指定財産助成金（a-2）	8,000,000	7,190,000	△ 810,000
	ファンド運営費（b-1～6の一部に充当）	1,800,000	1,794,090	△ 5,910
	指定助成業務費（b-6）	0	0	0
	計	9,800,000	8,984,090	△ 815,910

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

貸借対照表

(2024年9月30日現在)

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,333,413		
未収入金	2,735,500		
前払金	236,500		
仮払金	723,114		
立替金	213,946		
流動資産合計		8,242,473	
2. 固定資産			
事務所保証金	1,200,000		
固定資産合計		1,200,000	
資産合計			9,442,473
預り金	531,872		
流動負債合計		846,528	
2. 固定負債			
長期借入金	4,000,000		
固定負債合計		4,000,000	
負債合計			4,846,528
III 正味財産の部			
一般 正味財産	1,938,282		
指定 正味財産	2,657,663		
正味財産（一般、指定）			4,595,945
負債および正味財産合計			9,442,473

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

財産目録

(2024年9月30日現在)

(単位：円)

科目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,333,413		
現金	0		
みずほ銀行普通預金（銀座支店）（一般用）	1,456,537		
みずほ銀行普通預金（丸之内支店）（会費・寄付用）	0		
みずほ銀行普通預金（丸之内支店）（指定用タケダ）	2,657,663		
みずほ銀行普通預金（銀座支店）（オンラインバンク用）	219,213		
未収入金	2,735,500		
前払金	236,500		
仮払金	723,114		
立替金	213,946		
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金	314,656		
預り金	531,872		
健康保険	36,503		
厚生年金	106,153		
労働保険	55,729		
所得税	55,768		
地方税	143,100		
謝金源泉税	77,842		
ファンド講師謝金	11,000		
その他	45,777		
流動負債合計		846,528	
2. 固定負債			
長期借入金	4,000,000		
固定負債合計		4,000,000	
負債合計			4,846,528
III 正味財産の部			
一般正味財産	1,938,282		
指定正味財産	2,657,663		
タケダ・ウェルビーイング・プログラム	2,657,663		
正味財産計			4,595,945
負債および正味財産合計			9,442,473

2024 年度 事業計画

2024 年 10 月～ 2025 年 9 月

新たな取り組み

基盤強化プログラム

助成プログラム（自主）

助成プログラム（特定）

協力プログラム

助成関連協力事業

◆運営に関する事項



総会および理事会の開催

内容	開催日	議題
○2024年度 通常総会	2024年12月25日	①2023年度事業報告および決算の承認 ②2024年度事業計画および予算の承認
○第84回理事会	2024年11月	①2023年度事業報告案および決算案の審議 ②2024年度事業計画案および予算案の審議
○第85回理事会	2025年4月	①2024年度事業の経過報告 ②その他の意見交換
○第86回理事会	2025年6月	①2024年度事業の経過報告および下期の事業予定 ②2025年度事業計画について
○第87回理事会	2025年9月	①2024年度事業経過報告および決算見込みの報告 ②2025年度暫定事業計画（案）および予算（案）の審議

◆2024年度事業－新たな取り組み



◆基盤強化プログラム

①助成担当者のための研修・交流会の充実

・23年度に立ち上げた「助成担当者のための研修・交流会」企画検討会を軌道に乗せる。

＊頻度：年3回程度（第4回～第6回）

また、テーマや内容に応じて勉強会を立ち上げ、助成担当者に必要な学びと交流の機会について検討する。

＊頻度：1～2カ月に1回程度

②相談対応の体制整備

・企業や財団、行政等の助成担当者およびNPO支援組織の担当者を対象に、当ファンド理事を中心とした、助成事業に関する相談の機会を設ける。また、個別相談もスタッフが適宜応じる。相談対応の実施については、ホームページでの発信も強化する。

＊頻度：月に1回程度（必要時）、適宜

③企業・財団等に向けたセミナーやシンポジウムの開催

・ファンド理事を中心に、企業や財団・行政等に向け、昨今の市民活動助成に関連したテーマのセミナーやシンポジウムを開催する。

＊頻度：半年に1回程度。

◆運営に関する事項



●中期ビジョンの推進に向けた事業展開

・中期ビジョン策定委員会の提示した5カ年計画の4年度目となり、2021年度に行ったファンド設立20周年記念特別事業を土台として、そのビジョンの推進に取り組む。

●組織運営体制と事業展開のあり方の見直し改革

・中期ビジョン推進のためにも、現在の運営体制を見直し、総会や理事会で引き続き議論を尽くしつつ組織改革を実現する。

●会員および寄付の拡大

・ファンドの意義を積極的に広報し、会員の獲得をめざす。
・NPO支援組織の基盤強化事業を強化しつつ、個人、企業、財団等に呼びかけ、随時寄付や助成を依頼する。

●広報ツールの強化

・2023年に改訂したWebサイトの活用を促進し、積極的に市民社会創造ファンドの実績や諸活動を広報し、コンテンツの充実に努める。
・毎月1回、会員向けのメールマガジンを継続しつつ、外部メディアも活用し、会員や寄付獲得につなげる情報発信も積極的に行っていく。

●年次報告書の公開

・2023年度事業報告・決算報告を作成し、通常総会承認後できるだけ早い時期に、Webサイトにおいて公開する。

◆事業－基盤強化プログラム



(1) 助成担当者のための研修交流事業

市民ファンド／コミュニティ財団、助成財団や助成を行う企業等の関係強化を目的とした、「助成担当者のための研修交流会」の第4回を25年3月頃、第5回を6月頃、第6回を9月頃に開催する。内容は、企画検討委員会で検討し、第4・5・6回は一貫したテーマを設けて連続性を生み出し、学びを深める。

(2) 新規の助成プログラムの企画開発および助成関連事業等の相談対応

企業や財団等に向けたセミナーやシンポジウムを企画・実施し、新たな助成プログラムの企画開発やその運営協力、その他の評価事業等の関連事業への協力につなげる。

また、助成機関の担当者に向けて相談体制を整備する。



(3) NPO支援組織スタッフ強化助成

この助成は、民間のNPO支援組織による、全国または地域ブロック単位で実施する研修プログラムを対象とし、主催者には外部講師の謝金・交通費を、参加者（民間のNPO支援組織のスタッフに限定）には交通費の一部を助成するもの。なお、当ファンドの関係者が所属する組織の研修の場合は、ファンドが共催することにより分担金として支払う。本助成については、各地・各分野のNPO支援組織の基盤強化を図ることを目的とし、引き続き「助成プログラム（自主）」の展開とすることも含めて、今後仕組みを再検討する。



(1) 自主プログラムの検討と実施

当ファンド独自で立ち上げる助成プログラムについて検討を始める。そのための寄付を募集するとともに、会員の拡充につとめる。プログラムの立ち上げについては運営委員会を組成する。NPO支援組織スタッフ強化助成との関連性については引き続き検討する。

◆助成プログラム（特定）



（１）タケダ・ウェルビーイング・プログラム（計画型助成）

長期療養の子どもたちに“生きる力”を

* 武田薬品工業株式会社の年度毎の寄付により当ファンドが自主的に行うもの。

* 計画型（公募はしない） * 助成期間：プロジェクトごとに設定

1）2024年助成のフォロー

24年4月以降に助成を開始した5件について適宜フォローを行い、助成開始時期に応じて中間時点で中間報告書の受領及びインタビューの実施、助成終了後には完了報告書を受領する。

2）2025年助成の検討・実施・フォロー

前年のプログラム実施を踏まえ、長期療養の子どもとその家族に対する支援の現状とニーズを調査し、25年4月～26年3月の間に助成する候補団体の調査・インタビューを行い、審査会において助成を決定する。決定した助成対象団体については、適宜フォローを行う。

3）中間交流会の企画・実施

24年助成対象団体（5件）による中間交流会を25年2月頃にオンラインにて実施する。また、25年末から26年にかけて実施予定の、過去助成対象を全団体を対象とする対面での中間交流会の検討を始める。

4）実施報告

24年のプログラム実績及び成果について、25年6月末までに武田薬品工業株式会社に報告する。

◆協カプログラム



（１）ファイザープログラム（公募型助成）

～心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援～

* ファイザー株式会社の助成事業に当ファンドが協力して行うもの。

* 応募受付時期：6月 * 助成期間：1月～12月

1）2023年募集（2024年1月助成）のフォロー

24年1月に助成を開始した本助成対象の14件（新規：8件、継続：6件）について、ファイザー株式会社と連携してフォローを行う。助成終了後、25年1月末までに完了報告書を受領し、各プロジェクトの成果と課題を確認する。

2）2024年募集（2025年1月助成）の実施とフォロー

24年10月に助成を決定し、25年1月の助成開始後には、ファイザー株式会社と連携してフォローを行う。5月から6月にかけて中間インタビューを実施、7月末までに中間報告書を受領してプロジェクトの進捗を確認し、助成終了まで継続してフォローを行う。

3）2025年募集（2026年1月助成）の検討と実施

前年のプログラム実施を踏まえ、ファイザー株式会社と運営方法等について協議を行う。25年4月に公募を開始し、6月下旬に応募を締め切る。7月～10月に選考を行い、10月に助成を決定する。なお公募にあたっては、応募の層を開拓するためにオンライン公募説明会を公募中に開催する。

◆協カプログラム



(2) Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs (国内助成) (公募型助成)

～「貧困の解消」に向けて取り組むNPOの組織基盤の強化～

* パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社の助成事業に当ファンドが協力して行うもの。

* 応募受付時期：7月～8月 * 助成期間：1月～12月

1) 2023年募集(2024年1月助成)のフォロー

24年1月に助成を開始した9件(新規：5件、継続：4件)について、パナソニックと連携してフォローを行い、25年1月末までに成果報告書を受領し、3月に成果報告会を開催して、助成事業の成果と課題を確認し共有する。

2) 2024年募集(2025年1月助成)の実施とフォロー

前年に準じて公募・選考を行い、24年12月に助成を決定する。25年1月の助成開始後はパナソニックと連携してフォローを行う。組織診断コースおよび基盤強化コースともに7月に中間インタビューを実施し、7月末までに中間報告書を受領して、助成事業の進捗を確認する。助成終了後は、2026年1月末までに成果報告書を受領し、助成事業の成果と課題を確認する。なお、組織診断コースは成果報告書に加えて組織診断結果報告書を受領する。

◆協カプログラム



(2) Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs (国内助成) (公募型助成)

3) 2025年応募(2026年1月助成)の検討と実施

前年のプログラム実施を踏まえ、パナソニックと運営方法等について協議する。それに基づき、新規については25年4月に公募を開始し、8月～11月に予備選考と本選考を行い、12月に助成を決定する。継続については25年6月に募集を開始し、9月～11月に選考を行い、12月に助成を決定する。



(3) スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム（公募型助成）

～コミュニティスポーツによる健やかなひとづくりと社会づくりに向けて～

* 公益財団法人住友生命健康財団の助成事業に当ファンドが協力して行うもの。

第Ⅰ期は2010年より、第Ⅱ期は2015年より、第Ⅲ期は2020年より開始。第Ⅳ期を2025年から開始する。

* 応募受付時期：7月～8月 * 助成期間：4月～翌年3月

1) 2023年募集（2024年4月助成）のフォロー

24年4月に助成を開始した31件（チャレンジコース（新規）：17件、チャレンジコース（連続）：5件、アドバンスコース1年目：4件、アドバンスコース2年目：5件）について、24年10月末日までに中間報告書を受領し、各プロジェクトの進捗を確認する。アドバンスコースについては、10月から11月にかけて中間インタビューを実施する。その後、引き続き住友生命健康財団と連携してフォローを行い、助成終了後、25年4月末日までに完了報告書（アドバンスコース1年目は中間報告書）を受領し、各プロジェクトの成果や経過を確認する。

2) 2024年募集（2025年4月助成）の実施とフォロー

24年7月に募集を開始した。8月～2月に選考、25年2月に助成を決定、4月から助成を開始する。助成開始後は住友生命健康財団と連携しながら助成対象団体のフォローを行う。



(3) スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム（公募型助成）

3) 2025年募集（2026年4月助成）の検討と実施

第4期としてのプログラム更新を踏まえ、住友生命健康財団と運営方法等について協議する。それに基づき、25年7月に公募を開始し、8月～9月に予備選考、11月に本選考を行い、26年2月に助成を決定する。公募にあたっては、オンライン公募説明会の実施を検討し実施する。

4) コミュニティスポーツに関する情報発信

コミュニティスポーツの取り組み事例とその意義を社会に発信するため、24年3月末に継続助成が終了した8団体を対象に取材を行い、記事を作成し、住友生命健康財団のホームページに掲載する。

5) 助成終了2年後アンケート調査の実施

助成終了後、2年経過した団体に対して、25年6月から9月にかけてアンケート調査を実施し、助成プログラムの成果や課題を把握する。

◆協力プログラム



(4) 東急子ども応援プログラム（公募型助成）

- * 東急株式会社の実施する助成事業に当ファンドが協力して行うもの。2020年開始。
- * 応募受付期間：9月 * 助成期間：4月～翌年3月
- * 地域限定公募（東急線沿線市区内対象）
- * この助成プログラムは、すべての子どもが安心・安全で心豊かに暮らせる生活環境づくりを応援するものとして開始した。

1) 2023年募集（2024年4月助成）のフォロー

25年3月までに助成を終了する16件に関して、東急株式会社が行う報告会やプロジェクトの成果の発信について協力する。

2) 2024年募集（2025年4月助成）の実施

24年7月に募集を開始した。9月～12月に選考、25年1月に助成を決定、4月から助成を開始する。助成開始後は東急株式会社と協議しながら助成対象団体のフォローに協力する。

3) 2025年募集（2026年4月助成）の検討

募集の内容等につき、東急株式会社と協議し検討する。

◆協力プログラム



(5) ジョンソン・エンド・ジョンソン コミュニティ・ヘルスケア・プログラム（限定公募⇒公募助成）

- * ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社の実施する助成事業に当ファンドが協力して行うもの。2024年に限定公募でモデル助成を開始。
- * この助成プログラムは、地域社会におけるフロントラインヘルスケアワーカーの取り組み、フロントラインヘルスケアワーカーへのエンパワメントやヘルスケアに繋がる取り組みを応援するもの。

1) 2024年モデル助成（2024年6月助成）のフォローと評価

24年6月に助成を開始した6件について、24年10月に中間インタビューを実施するとともに10月末日までに中間報告書を受領し、各プロジェクトの進捗を確認する。加えてモデル助成のプログラム評価を行う。その後、引き続きジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社と連携してフォローを行い、助成終了後、25年7月末までに完了報告書を受領し、各プロジェクトの成果や経過を確認する。

2) 2025年募集（2025年6月助成）の検討

25年募集の内容等につき、モデル助成の結果を踏まえてジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社と協議し検討する。



(1) 上記以外の助成プログラムに関する評価

ファンド以外で実施した助成プログラムも対象に、助成事業に関する評価調査を受託し実施する計画であったが、行っていない。

(2) その他の関連協力事業

今後も出張研修事業等、様々な形の助成関連協力事業を受託し、実施する計画であり、現在ある企業から相談を受けている。

2024年度のスタッフ体制（2024年10月1日現在）	
事務局長／シニア・プログラムオフィサー	山田 絵美
プログラム・オフィサー	駒井 雅子
プログラムアドバイザー（非常勤）	霜田 美奈
会計サポート	高村 和雄
	以上

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

役 員

○理事：

- 阿部 陽一郎 （社会福祉法人 中央共同募金会 常務理事）
- 安藤 雄太 （東京ボランティア・市民活動センター アドバイザー）
- 上田 英司 （認定特定非営利活動法人 日本 NPO センター 事務局次長）
- 実吉 威 （特定非営利活動法人 市民活動センター神戸（KEC） 理事・事務局長、
公益財団法人 ひょうごコミュニティ財団 代表理事）
- 田尻 佳史 （認定特定非営利活動法人 日本 NPO センター 常務理事）
- 谷本 都栄 （帝京大学 冲永総合研究所 准教授）
- 中島 智人 （産業能率大学 経営学部 教授）
- 中村 陽一 （立教大学 名誉教授）
- 長澤 恵美子 （わくわく共創オフィス 代表）
- 山岡 義典 （認定特定非営利活動法人 日本 NPO センター 顧問、法政大学 名誉教授）
- 山口 郁子 （協同組織金融機関 職員）
- 横田 能洋 （認定特定非営利活動法人 茨城 NPO センター・コモンズ 代表理事）
- 渡辺 元 （公益財団法人 助成財団センター 理事）

○監事：

- 稲垣 正久 （市民社会創造ファンド 元事務局長）
- 平野 毅 （公認会計士）

○任期： 2023 年 12 月 21 日から 2025 年 12 月の総会終結時まで

以上

【参考資料】 市民社会創造ファンド 主催・協力助成プログラム 対象一覧

◎タケダ・ウェルビーイング・プログラム（2024 年度助成:2024 年 4 月以降 随時実施）

【継続助成 2 年目】 助成件数:3 件、助成金額:402 万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
病気があっても主役になれる子ども育成プロジェクト ～みんなでやってみよう！スポーツ、音楽 etc.心に寄り添う居場所づくり～	認定特定非営利活動法人 心臓病の子どもを守る京都父母の会	京都府	60
入院中・長期療養中のこどもたち・そのきょうだい家族を支援するネットワーク「小児病棟わくわく応援団」の連携強化	小児病棟わくわく応援団	大阪府	161
メタバース空間を活用した病気や障害のある子どもの復学支援プログラム「チャミングケアブレン」の構築とコミュニティづくり	一般社団法人 チャミングケア	大阪府	181

【継続助成 3 年目】 助成件数:2 件、助成金額:317 万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
小児病棟の付き添い家族に温かい食事を届け、心も支える「ミール de スマイリング」事業普及プロジェクト	認定特定非営利活動法人 キープ・ママ・スマイリング	東京都	196
入院・療養中の子ども達に ICT を使って音楽を届ける活動と定着	特定非営利活動法人 OnPal	福岡県	121

合計:助成件数 5 件、助成総額:719 万円

◎ファイザープログラム（2024 年度助成:2025 年 1 月～2025 年 12 月）

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
原発事故被災地の熟議型対話によってコミュニティエンパワメントを促進する事業	特定非営利活動法人 福島ダイアログ	福島県	50
ホームレス・生活困窮者を対象とした路上巡回活動および居場所づくり活動	特定非営利活動法人 ほっとプラス	埼玉県	130
ひきこもり本人と家族の居場所事業	特定非営利活動法人 楽の会リーラ	東京都	140
難病者の社会参加をサポートする「トリセツ」等の開発・実践	認定NPO法人 両育わーど	東京都	240
反貧困ネットワーク居場所交流事業 『Champoraーちゃんぽらー』	一般社団法人 反貧困ネットワーク	東京都	240
ものつくりを通して性被害当事者が安心して社会復帰を目指す居場所の確立	一般社団法人 OHANA	神奈川県	280
がん経験者に特化した就労支援事業 ～がんを経験していても働きやすい世の中に～	特定非営利活動法人 ピュアスマイルスタジオ	神奈川県	50
がん経験者が語る希望と勇気「がん教育」で未来を照らす！	一般社団法人 神奈川県がん患者団体連合会	神奈川県	120
若年層の予期せぬ妊娠を防ぐ、緊急避妊薬の入手ハードルに関する調査	一般社団法人 ソウレッジ	静岡県	170
薬局等従業者向けの「やさしい日本語」を使った対応力向上のための動画作成	「やさしい日本語」を広める会	京都府	50
がん患者:心とからだの健康支援 つながりファーム活動	特定非営利活動法人 つながりひろば	大阪府	130
10 代から 20 代の若者へのグリーフサポートの在り方を探る	特定非営利活動法人 グリーフサポート・リヴ	大阪府	140
過疎地域の困難を抱える高齢者やこどもへの包括支援	社会福祉法人 敬愛福祉会	島根県	80
こどもたちに「いのちのおはなし」を届けよう	いのちのおはなし岡山	岡山県	50

合計 助成件数:14 件、助成総額:1,870 万円

◎パナソニック NPO/NGO サポートファンド for SDGs (2024 年募集:2025 年 1 月～2025 年 12 月)

【新規助成】 助成件数:5件、助成金額:750 万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	コース	助成金額 (万円)
愛情的・経済的貧困を抱える子どもたちへの支援体制および財務基盤強化に向けた組織診断	特定非営利活動法人 ウィーズ	千葉県	組織 診断	150
LGBTQ の貧困の解消に向け、持続可能な組織・ファンドレイジングの仕組みづくり	一般社団法人 性的指向および性自認により困難を抱えている当事者等に対する法整備のための全国連合会	東京都	組織 診断	150
「妊娠の社会的孤立」解消に向けた多様な活動の持続運営のため、組織横断型で取り組む人材育成・組織文化作りに向けた組織診断	認定特定非営利活動法人 ピッコラーレ	東京都	組織 診断	150
複合的な課題のある LGBTQ の人々への支援を行うための持続可能な組織構築を目指した組織診断	NPO 法人 QWRC	大阪府	組織 診断	150
地域の子ども・若者にむけた多様な支援事業と制度の狭間を埋める活動を継続していくため、組織全体の診断と法人事務の強化に向けた取り組み	特定非営利活動法人 どりいむスイッチ	広島県	組織 診断	150

【継続助成】 助成件数:4件、助成金額:750 万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	コース	助成金額 (万円)
親を頼りづらい若者サポート事業のボランティアマネジメント・管理部体制・財政基盤整備等の組織基盤強化 (継続助成 2 年目)	一般社団法人 Masterpiece	東京都	基盤 強化	195
制度の隙間に溢れ落ちたこども・若者に切れ目ない支援を届けるための持続可能な組織構築を目的とした基盤強化事業 (継続助成 2 年目)	特定非営利活動法人 パノラマ	神奈川県	基盤 強化	200
ひきこもり・ニート(若者無業者)・不登校の子どもや若者およびご家族の自立支援を持続的および発展的に運営するための組織基盤強化事業 (継続助成 2 年目)	特定非営利活動法人 青少年自立支援施設淡路ブラッツ	大阪府	基盤 強化	199
こども若者の貧困課題解消へのソーシャルアクションに向けて、人材育成計画の策定を中心とする組織基盤強化事業 (継続助成 3 年目)	特定非営利活動法人 こどもソーシャルワークセンター	滋賀県	基盤 強化	156

合計 助成件数:9件、助成総額:1,500 万円

◎スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム (2023 年度助成:2024 年 4 月～2025 年 3 月)

※アドバンスコースは 2026 年 3 月まで

【チャレンジコース】(地域におけるコミュニティスポーツのチャレンジと、その後の自立・発展をめざすもの)

■ 新規助成 助成件数:17 件 助成金額:837 万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
子どもが主役！学校と地域を結ぶコミュニティスポーツを軸とした対話と交流プロジェクト	MLA 実践交流・勉強会	北海道 札幌市	50
離島の子どもたちの心と身体を豊かに！～ドイツ発祥の運動プログラム「バルシューレ」を活用して～	奥尻町バルシューレ愛好会	北海道 奥尻郡	50
コミュニティスポーツとしての「キューカーリング」の普及プロジェクト	一般社団法人 みどりスポーツクラブわっかない	北海道 稚内市	50
障がいも年齢も関係なしで畑でみんなが繋がったら、あっという間ににこにこピース！	あぶくまレインボウ陸上クラブ	福島県 郡山市	44
ココロとカラダの『健幸』豊かなスポーツライフの実現をめざして	特定非営利活動法人 まち・ひと・みらい	福島県 東白川郡	50
「いと基地」～障害があってもなくても、思いっきり体を動かして遊びたい！だって子どもなんだもん！～体操遊びを通じて、家族・きょうだい・仲間・地域をつなぐベース基地を作る	NPO 法人 とりで西部ふれあいクラブ	茨城県 取手市	43
ノルディック・ウォークで「健康」「安全」「安心」、健康寿命 80 歳！の街づくり	特定非営利活動法人 NORDIC あさか	埼玉県 朝霞市	50
AYA インクルーシブ 運動フェスティバル ～笑顔と絆が生まれる、病気・障がい・医ケアとスポーツの交流祭～	特定非営利活動法人 AYA	東京都 中央区	50

障がい児サッカー教室から未来へ！	特定非営利活動法人 OluOlu	東京都 品川区	50
ひばりリンピック大会 【地域運動会、リレーマラソン】	ひばりリンピック大会事務局	東京都 西東京市	50
鎌倉の海で遊ぼう！海の安全を学ぼう！プロジェクト	NPO 法人 マナビノキ	神奈川県 鎌倉市	50
運動あそびで、地域のこども達の生きる力を育てる！ てらこや kids 運動あそび教室事業	てらこやサンガ	新潟県 新潟市	50
市内全域保育園巡回「出張！うんどうプロジェクト」	一般社団法人 伊那市総合型地域スポーツクラブ	長野県 伊那市	50
田舎らしい、スポーツ：草原の乗馬と馬との触れ合い	高山村総合型スポーツクラブ	長野県 上高井郡	50
海あそび SUP 体験－外遊びが少ないひとりと親世帯や外国 籍の子供と SUP 体験	ちびっと食堂@くらし	大阪府 大阪市	50
体験しよう！コミュニティスポーツフェスティバル	特定非営利活動法人 スポーツ巡回ネットワーク	徳島県 徳島市	50
多世代交流の冒険遊び場 「フォレストプレーパーク」	森遊び工房 notameni	佐賀県 鳥栖市	50

■ 連続助成 助成件数：5 件 助成金額：250 万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
スポーツを通して常総市を国際的に繋げる	Active Life	茨城県 常総市	50
インクルーシブスポーツ教室。 手話とタグラグビーを楽しみながら交流しよう！	特定非営利活動法人 地域総合スポーツクラブ・ピボットフット	東京都 大田区	50
全国各地で障害の有無に関わらず誰もが参加できるパラ スポーツコミュニティをつくる！ ～小さな共生社会の実現を目指して～	一般社団法人 Knocku	東京都 渋谷区	50
「SDGs」：世界と遊ぼう！色々な国のコミュニティスポ ーツで国際交流	特定非営利活動法人 ワン・フォー・オール	山口県 宇部市	50
離島の子どもの身体づくりとしての体操環境を	総合型地域スポーツクラブ 元気！わどまりクラブ	鹿児島県 大島郡	50

【アドバンスコース】（地域を超えたコミュニティスポーツの展開や、特定の地域におけるコミュニティスポーツの深化をめざすもの）

■ 助成 1 年目 助成件数：4 件 助成金額：609 万円 来年度助成予定金額（2年目）：591 万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 1 年目 (万円)	助成金額 2 年目 (万円)
Chain of Smiles Project ～ボーダーレスで誰もが安 心して参加できるスポーツイベントの実践～	Chain of Smiles Project 実行委員会	秋田県 秋田市	170	130
テラコヤのブカツドウ～不勝道～	NPO 法人 テラコヤ	東京都 豊島区	150	150
「Head Of The SETA」を市民参加型の国際ロングレ ースへ	特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部	滋賀県 大津市	150	150
沖縄の離島・へき地における障がい当事者を中心とした地 域スポーツクラブの創設	一般社団法人 琉球スポーツサポート	沖縄県 浦添市	139	161

※尚、アドバンスコースは助成期間が2年間であり、昨年度（2022 年度）に以下の 5 団体を助成対象として決定しており、202 年度も継続して助成を行う。

■ 助成 2 年目 助成件数：5 件 昨年度助成金額（1年目）：776 万円 今年度助成金額（2年目）：721 万円

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 1 年目 (万円)	助成金額 2 年目 (万円)
共生社会創造 「くさの音プロジェクト」	特定非営利活動法人 あ・りーさだ	北海道 夕張市	150	150
地域の拠点となるコミュニティスポーツ	社会福祉法人 まちスウィング	愛知県 春日井市	191	109
多様な困難を持つ人が参加するダイバーシティリーグの全 国展開&ダイバーシティサッカー・フェスティバルの開催	特定非営利活動法人 ダイバーシティサッカー協会	大阪府 大阪市	136	163
地域社会と取り組むソーシャル・サーカス「瀬戸内みんな のサーカス」プロジェクト	一般社団法人 瀬戸内サーカスファクトリー	香川県 高松市	150	150
妙音山スポーツフォレスト	妙音山を守る会	大分県 由布市	149	149

合計 助成件数：31 件、助成総額：2,417 万円 ※アドバンスコース助成 2 年目の助成 2 年目・件数、金額を含む

◎東急子ども応援プログラム（2024 年度助成:2024 年 4 月～2025 年 3 月）

プロジェクト名	団体名	助成金額 (万円)
土と水と草といきものとともにたくましく遊んで、親子で育ち合う	NPO 法人 青空保育ぺんぺんぐさ	100
Let's play!! SCRAP#PARK	一般社団法人 おおたクリエイティブタウンセンター	99
デジタルツールを活用した、重症障害児と地域の子ども達が共に子どもらしく過ごせる遊び場づくり	NPO 法人 Ohana kids	55
竹山プロジェクト	NPO 法人 KUSC	100
ろう者×聴者 多様な子供たちのための防災プログラム実施	公益財団法人 現代人形劇センター	100
地域で多様な子ども・家庭と若者がともに育ち合う場づくり	NPO 法人 CFF ジャパン	99
こどもまんなか多文化教育プロジェクト	NPO 法人 Sharing Caring Culture	100
誰でも参画可能！ 「多世代が集う、山崎団地冒険遊び場プロジェクト」	学校法人 正和学園 幼保連携型認定こども園 正和幼稚園	100
子どものための面会交流促進事業	一般社団法人 びじっと・離婚と子ども問題支援センター	100
児童養護施設の子どものための地域密着型就労支援	NPO 法人 フェアスタートサポート	100
家族をがんで亡くした子どもに対するグリーフサポートプログラム	NPO 法人 Hope Tree	50
こどもがつくるこどものまち「ミニヨコハマシティ」とこどものまち EXPO 開催	認定 NPO 法人 ミニシティ・プラス	100
「こどもホスピス」 ～この瞬間を笑顔に！みんなで支えて叶えたい～	認定 NPO 法人 横浜こどもホスピスプロジェクト	100
横浜市立みなと総合高校「校内カフェ」運営事業	公益財団法人 よこはまユース	100
萌カフェ みんなのおうち	NPO 法人 レスバイトケア・サービス萌	97
子どもリージョンフィルムディレクター養成講座@おおた	NPO 法人 ワップフィルム	100

合計 助成件数:16 件、助成総額:1,500 万円

◎ジョンソン・エンド・ジョンソン コミュニティ・ヘルスケア・プログラム（2024 年モデル助成:2024 年 6 月～2025 年 5 月）

プロジェクト名	団体名	都道府県	助成金額 (万円)
「さぼんて」を活用し、地域での共助・互助の循環をつくる	特定非営利活動法人 あえりあ	北海道	330
どこでも誰でも安全・安心な産後ケア事業	一般社団法人 福島県助産師会	福島県	107
地域のヘルスケアワーカーと企業が共同で取り組む街づくり構想	一般社団法人 みんなの保健室 陽だまり	埼玉県	339
薬物の問題を持つ人たちにかかわるケアワーカーたちのヘルスケアのための集い	特定非営利活動法人 大阪・ダルクアソシエーション	大阪府	157
医療的ケア児とともに育ち、暮らすコミュニティづくりのための調査研究事業	特定非営利活動法人 こどもコミュニティケア	兵庫県	200
孤独を解消する地域における小さな包摂的な場に関する調査研究事業	一般社団法人 ケアと暮らしの編集社	兵庫県	342

合計 助成件数:6 件、助成総額:1,475 万円

市民社会創造ファンドでは、会員・賛助会員
を募集しています。市民活動助成を通じた新
しい市民社会の創造にむけてご協力をお願い
いたします。



発行
発行元

2025 年 2 月 21 日
特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-4-3
日本橋 MI ビル 1 階
TEL 03-5623-5055 FAX 03-5623-5057
info@civalfund.org <https://civalfund.org>